

事務事業名	収入消込事務				担当	会計管理者 会計課 出納係			
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり				増補版施策名			
施策名	4	健全な財政運営				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠	真岡市財務規則第34条					☒ 単年度繰返（開始年度 年度～）			
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	4. 会計管理費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	市税以外の歳入について、電算入力により消し込み事務を行う。 消し込み...主管課が、領収済み通知書等の収入原付に基づき、徴収簿に収入年月日を記録すること。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 29年度実績 会計別、款項目節別、日付別に分類整理された納付書を基に電算入力する。電算上の集計と指定金融機関の日計表を照合する。 30年度計画 29年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
	ア 消し込み件数（会計課）	件	12,639	12,667	12,329	13,361	13,500
	イ						
	ウ						
	エ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 納付書の枚数及び納入額	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
	ア 納付書の枚数	枚	242,502	249,449	252,815	249,589	250,000
	イ 納入額	百万円	55,683	59,989	60,848	58,083	58,200
	ウ						
	エ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 収入金額の把握	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
	ア 正確に消し込みされた収入額	百万円	55,683	59,989	60,848	58,083	58,200
	イ						
	ウ						
	エ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 財政の健全化	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
	ア 正確・迅速に処理された消しこみの割合	%	100	100	100	100	100
	イ						
	ウ						
	エ						

(2) 総事業費の推移				単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	0	0	0	0	0
			事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
	延べ業務時間		時間	260	260	260	300	290	
	人件費計 (B)		千円	1,097	1,089	1,080	1,245	1,204	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,097	1,089	1,080	1,245	1,204	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。	正確な入金把握
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？	平成 6 年 4 月から財務会計システムが導入され、平成 2 1 年 1 2 月からは公会計システムに変更された。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	